

指定管理者の評価結果について（令和2年度）

1 指定概要

（1）施設概要

施設名：津島市中央児童館

所在地：津島市橘町5丁目18番地

設置年：昭和51年

設置目的：児童健全育成を図る

施設内容：構造：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上2階建

敷地面積：1,014.00 m²

延床面積：649.30 m²

主な設備：1階 事務室、控室、遊戯室、体育室、便所、倉庫
2階 図書室、会議室、第1遊戯室、第2遊戯室、
集会所、便所

（2）指定管理者の概要

指定管理者名：株式会社日本保育サービス

所在地：名古屋市東区葵3丁目15番31号

指定管理者概要：保育所・託児所の設置運営、労働者派遣事業、学童クラブ事業、児童館事業などの保育関連事業を中心に、全国で運営の実績有り

（3）指定管理業務の範囲

中央児童館管理及び運営に関する業務

（4）指定期間

平成30年4月1日～令和3年3月31日

2 評価結果

(1) 評価基準

評価項目
I 適正な管理の確保に関する取り組み
(1) 管理の実施状況 <ul style="list-style-type: none">施設の維持管理が適切に行われているか。施設の管理にあたる人員配置が合理的であったか。個人情報を保護するための対策が十分であったか。
(2) 安全対策、危機管理体制など <ul style="list-style-type: none">事故防止などの安全対策や事故発生時の危機管理体制は十分であったか。防犯、防災対策や非常災害時の対応などが十分であったか。
II 市民の平等利用、サービス向上、利用促進等に関する取り組み
(1) 施設の利用促進など <ul style="list-style-type: none">目標の利用者数をクリアしたか。施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、十分なサービスが提供されたか。
(2) 市民の平等利用、サービスの質の維持・向上 <ul style="list-style-type: none">利用者の意見を反映させる取り組みが行われたか。利用者が公平に、平等に利用できるよう配慮されたか。サービスの質を維持・向上を図る具体的な取り組みがなされ、効果があったか。
III 管理経費の安定や低減に関する取り組み
(1) 指定管理に係る費用（＝管理コスト） <ul style="list-style-type: none">協定で定めた費用で施設の管理が効率的になされたか。施設の管理に係る収支の内容に不適切な点はないか。
(2) 収入の増加や経費の低減に向けた創意工夫 <ul style="list-style-type: none">施設の管理に係る収支の内容に不適切な点はないか。再委託をした業者は、適切な水準で行われたか。
IV 施設の設置目的の達成に関する取組み
(1) 施設の設置目的の達成状況 <ul style="list-style-type: none">施設の設置目的に沿った活用がなされているか。施設の設置目的を達成するための取り組みがなされ、効果があったか。
(2) 提案内容の達成状況 <ul style="list-style-type: none">事業計画書での主な目標項目について、達成状況はどうか。

(2) 評価結果

評価項目	令和2年度の状況	評点
I 適正な管理の確保に関する取組み (1) 管理の実施状況 (2) 安全対策、危機管理体制など	新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めた。 遊具や設備の保守点検を適切に行い、必要な修繕も行った。	2点 / 3点
II 市民の平等利用、サービス向上、利用促進等に関する取組み (1) 施設の利用促進など (2) 市民の平等利用、サービスの質の維持・向上	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった事業もあったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、行事を行った。また、実施できなかった事業にかわり、代替の事業を行ない、利用促進に努めた。	2点 / 3点
III 管理経費の安定や低減に関する取組み (1) 指定管理に係る費用 (=管理コスト) (2) 収入の増加や経費の低減に向けた創意工夫	水道光熱水費で費用の軽減が図られた。	2点 / 3点
IV 施設の設置目的の達成に関する取組み (1) 施設の設置目的の達成状況 (2) 提案内容の達成状況	ボランティア団体との共生を図った。 利用者の相談に応じ、適切に支援を行った。	2点 / 3点
合 計		8点 / 12点
総合評価		A
[評価の理由] I 適正な管理の確保に関する取組み 新型コロナウイルス感染症拡大防止策を適切に講じた。また、定期的な点検等により安全対策を適切に講じた。 II 市民の平等利用、サービス向上、利用促進等に関する取組み 概ね適正であった。コロナ禍のなかで、代替の事業を考え、実施したことが評価できる。コロナ禍で利用者の減は免れないものの、コロナ禍が続いた場合、今後どのように事業を実施していき、利用者の満足度をあげるか、検討していくことが必要である。 III 管理経費の安定や低減に関する取組み 定められた経費の中で効率的に経費が使用されていた。 IV 施設の設置目的の達成に関する取組み コロナ禍のなかで、施設の設置目的である、児童の健全な育成を図ることに対して概ね適切に実施された。今後も、子どもの居場所として、利用者ニーズの把握に努め、新たな事業の実施や周知の徹底を期待する。		

【評 点】

- 3点：計画された業務水準を大きく上回る成果があり、特に優れていたもの
- 2点：計画された業務水準を概ね達成したもの
- 1点：再三の指導や是正勧告の結果、計画された業務水準を概ね達成したもの
- 0点：計画された業務水準を達成できなかったもの

【総合評価】

- S：目標や計画を大きく上回る成果があり、特に優れていた。
（「1点」以下の項目がなく、かつ、合計得点が全体の85%以上）
- A：目標や計画どおりの成果があり、適正な管理が行われた。
（「0点」の項目がなく、かつ、合計得点が全体の60%以上85%未満）
- B：目標や計画を下回る点があり、さらなる努力が必要である。
（「0点」の項目がなく、かつ、合計得点が全体の30%以上60%未満）
- C：管理運営に適切でない点があり、改善すべきである。
（「0点」が1項目以上ある、または、合計得点が全体の30%未満）